

実用化事例

設備使用

支援先

平沼産業株式会社

他 5 社

恒温恒湿器による製品開発等支援

【支援の背景】

製品開発においては、下記事例のように、温度や湿度に対する耐性を把握することが求められます。当センターでは、その対応として恒温恒湿器を導入しております。

- ・電子部品や小型電子機器の温湿度特性の確認
- ・耐低温、耐高温、耐湿度による耐久性の確認
- ・寿命試験、製品輸送時に遭遇する温湿度環境が製品に与える影響確認

【支援内容】

当センターでは恒温恒湿器を使用した製品開発支援を行っております。センターでは恒温恒湿器を 2 台所有し、それぞれ温度湿度を調整することが可能です(図 1)、(図 2)。また、試験室の中で製品を操作することもできます。



図 1 楠本化成(株) FX730N



図 2 エスベック(株) PSL-2G

表 1 恒温恒湿器の仕様

メーカー・型式	楠本化成(株) FX730N	エスベック(株) PSL-2G
試験室寸法	1000mm×1000mm×800mm	600mm×850mm×600mm
温度範囲	-70℃～+150℃	-70℃～+100℃
湿度範囲	20%～98%RH(温度による)	30%～98%RH(温度による)
温度変化速度	昇温:3.5℃/分(-48℃～+128℃)	昇温:4.3℃/分(-70℃～+20℃)
	降温:1.5℃/分(+128℃～-48℃)	降温:1.0℃/分(+20℃～-70℃)
操作	自動・手動	自動・手動
使用方法	受託研究	設備使用

【支援事例の紹介】

図 3 は、当センターの恒温恒湿器をご利用された企業の製品例です。

電気化学分析機器の設計・製造などを業務とする平沼産業株式会社に、平沼全自動滴定装置 ALT-1000(図 3)の性能確認のため当所の恒温恒湿器を活用いただきました。

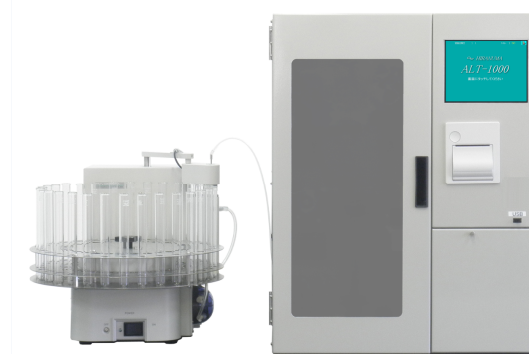


図 3 平沼全自動滴定装置 ALT-1000

基礎となった事業

平成 25, 26 年度 試験研究指導費(設備使用)

現在の担当部門

先端技術部門

部 門 長 大城 靖彦

TEL:029-293-7495

主 任 加藤 健

技 師 岩澤 健太

技 師 川上 知弘